# 長門第３回計算コンテスト

2020.3.5（木）

5年（　）組　名前（　　　　　　　）

| | 筆算コーナー |
|---|---|
| ① 60.2 × 0.52 ＝ 31.304 | 60.2 × 0.52 / 1204 / 3010 / 31.304 ← 小数点の後ろに数字は3つあるので 同じになるように小数点を打つ |
| ② 2.01 ÷ 1.34 ＝ 1.5 （わりきれるまで計算しましょう。） | 1.34 ) 2.01 → ×100 ×100 上にあげる 1.5 / 134 / 670 / 670 / 0 割る数の小数は整数にして計算する。 |
| ③ 0.7 × 0.6 ＝ 0.42 | 7×6＝42 0.7×0.6＝0.42 小数点の後ろに数字が2つあるので、小数点の後ろに数字が2つくるように打つ |
| ④ 6.12 ÷ 0.18 ＝ 34 （わりきれるまで計算しましょう。） | 0.18 ) 6.12 ×100 ×100 34 / 54 / 72 / 72 / 0 |
| ⑤ 4.56 × 3.8 ＝ 17.328 | 4.56 × 3.8 / 3648 / 1368 / 17.328 3つ ※チェック 小数点の後ろに数字は3つ |

| 問題 | 筆算コーナー |
|---|---|
| ⑥ $3\frac{7}{8} - 1\frac{5}{6} = 2\frac{1}{24}$ | 通分してやる。8と6の最小公倍数は、24<br>$3\frac{7\times3}{8\times3} - 1\frac{5\times4}{6\times4} = 3\frac{21}{24} - 1\frac{20}{24}$<br>$= 2\frac{1}{24}$ |
| ⑦ $1\frac{4}{9} + \frac{1}{6} = 1\frac{11}{18}$ | 通分 9と6の最小公倍数は18<br>$1\frac{8}{18} + \frac{3}{18} = 1\frac{11}{18}$ |
| ⑧ $\frac{3}{8} \times 12 = \frac{9}{2}$ $(4\frac{1}{2})$<br>答えは仮分数のままでOKです。 | $\frac{3\times12}{8}$ ←ここで何かに気づく!<br>あっ! 12と8は、4で割れる。<br>$\frac{3\times\cancel{12}^{3}}{\cancel{8}_{2}} = \frac{9}{2}$ |
| ⑨ $\frac{7}{10} \div 14 = \frac{1}{20}$ | ÷14とは、$\times\frac{1}{14}$と同じ意味<br>$\frac{7}{10} \times \frac{1}{14} \Rightarrow \frac{7}{10\times14}$ ←ここで気づく!<br>あっ! 7で割れる<br>$= \frac{\cancel{7}^{1}}{10\times\cancel{14}_{2}} = \frac{1}{20}$ |
| ⑩ $\frac{9}{10} - 0.3 = \frac{3}{5}$ $(0.6)$ | どちらの道を選びますか?<br>この様な分数と小数がいっしょの問題の場合、基本分数の道をすすめます。<br>でも、この場合は、どちらでもOK.<br>$\frac{9}{10} - \frac{3}{10} = \frac{6}{10}$ 安心しない → $= \frac{3}{5}$ ｝ $0.9 - 0.3 = 0.6$ |

テストをして思ったことを書きましょう。

どうでしたか?

／100点